

ことう地域 チームケア研究会たより



第 6 号
平成26年2月14日



去る1月23日に、第6回目の研究会が開催されました。

日時: 1月23日(木) 18:30~20:30

会場: くすのきセンター 1階研修室

参加者: 61名(医療関係者: 25名、福祉関係者: 12名、行政等: 24名)

今回は、26年1月にオープンした、くすのきセンター(正式名称: 彦根市保健・医療複合施設)で初めての開催をしました。2階、3階の関連するお部屋の見学の後、彦根薬剤師会から話題提供をいただき、そののち、7つのグループに分かれて意見交換を行いました。



← 関係者が研修などに
使用できます。 →



話題提供 薬剤師の役割～薬にまつわる話～

彦根薬剤師会 すみれ調剤薬局

射手矢慎一薬剤師

居宅療養管理指導で
患者さんや介護者さん
のお話を聞いています。



約1時間の訪問で多種に状況を開いたり難談をしたりいろいろ
な特徴を得ることや、介護のストレス発散になればよいか
と想っています。

在宅のチーム医療に少しでも役に立てればと思っております。
今後とも皆様のご指導・ご鞭撻を宜しくお願いたします。

溶けにくいお薬、
一包化.....

ぷるす調剤薬局

三浦 崇薬剤師

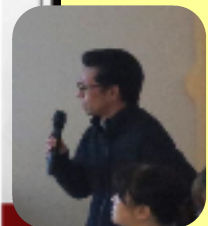
飲み合わせって重要なの?!

- 腎臓の薬である利尿 + 糖質 = 塩分がけれにくなり血圧上昇
- 抗生剤 + 牛乳やヨーグルト = 薬が腸の吸収を妨げるので避ける
- 血圧薬(利尿剤) + グレープフルーツ = 効き過ぎて血圧低下で危険
- 血液サラサラの薬 + 納豆、クエン酸 = 効果が下がり血栓の危険

飲み忘れたらどうするの?!

- 1日3回毎食後 = 忘れたい時は飛ばして大丈夫
- 1日1回 = 思い出し忘れずに服用してください
- 食前薬 = 食後でも大丈夫なものもありますが、食前でないとはダメなものもあります

お薬のことで
お困りの時、??の時には.....



リリー薬局

池田富美子薬剤師

薬剤師のちょこっとアドバイス

- 漢方薬はお湯で服用すると飲みやすい
- 口に含んでも吐き出してしまう場合は00袋を
- 種類や用法が複雑なら一包化がオススメ
- 飲み忘れ防止など、さまざまなグッズを提供できます

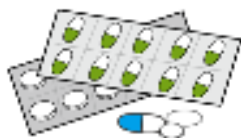


グループワーク・自己紹介タイム

★講演を聞いた感想・もっと知りたいこと
★今、私たちの取り組んでいること

など

- ・調剤中でなかなか対応できないときもあるので、電話をいただいて、FAXに質問を書いてもらえば、返事をする。相談しやすい薬局に相談してください。
- ・歯科では多くの薬は出さないため、院内処方対応。
- ・薬をため込んでいる人もいて、入院時に持っていくと整理してもらえ、薬局に持っていけば、余ったその薬を処分することも可能。
- ・薬とグレープフルーツなどの飲み合わせについていろいろ聞いた。



利用者さんのために、
ありがとうございます！



- ・薬剤師に質問し、明確に答えられてよかった。
- ・薬剤師の訪問はお試しから開始、介護者も喜んでいる。
- ・薬の配達が500円という情報しか分からず、介護者にも500円で配達してくれるという情報しか伝えられていなかったが、配達ではなく、丁寧に指導したり、介護相談にのってもらっていることに感謝。
- ・薬剤師に関心したいことがあれば、メールや電話で相談してくださいという言葉。

- ・ジェネリック薬品と先発との違いを教してもらった。
- ・3食の中で朝食が飲めていないことが多いという意見。生活リズムの中で朝食が抜ける人もいる。医師には言えないという患者もいるので、仲介して伝えていければよい。(薬局から医師に言うのは難しいという意見も。)
- ・お薬手帳の複数所持の課題。薬がかぶっていることもあるので、お薬手帳を見せてくださいと伝えていくこと必要。



- ・訪問したら服薬できていないという方について、薬剤師さんに相談して、なぜ飲めていないのかをアセスメントしてもらえると助かる(薬剤の形状？嚥下の問題?)。(CM)
- ・お薬手帳にこの薬を忘れたときはどうしたらいいとかいう一言が書いてあるといい。
- ・複数の病院で処方されている場合、お薬手帳が多数あることになり、そのあたりは課題。ケアマネからも受診に行くときに持っていくことについて啓発していくことが必要。
- ・「施設や在宅で飲み合わせや薬の形状についてわからない時は、どこの薬局に問い合わせてもらってよい。調剤、指導もするので、いつでも相談してください⇒薬剤師からの言葉。
- ・薬剤師の居宅療養管理指導が自己負担500円(ケアプランに位置づけ)で、薬に対する相談以外に介護相談なども対応していただいていることを知った。訪問介護士に対する薬剤に関する質問は困る場合もあるので、ルートを考える必要あるか。



今回は参加者が少なめでしたが、その分、各テーブルに薬剤師さんがおられ、みなさんは「気軽に質問できてよかった！」「居宅療養管理指導のことは全く知らなかった」「いろいろなことが聞けてよかった！」と言われていました。お薬のことでわからないことは、かかりつけ薬局でなくても相談してくださいと心強いお言葉をいただきました。



次回は… **3月13日(木)** 18:30～20:30
 テーマ:最後まで気持ちよいお口で過ごすために
 =高齢期の歯科保健管理のメリット=
 会場:くすのきセンター 1階研修室
 担当団体:彦根歯科医師会

※申込み不要、当日会場へお越しください

連絡先:ことう地域チームケア研究会事務局(湖東健康福祉事務所)
 TEL:0749-22-1770

こんなこと、思いました！

話題提供に関して、
「参考になった点」「もう少し聞いてみたい点」「報告したい点」など

- ・ 4年前に父親がペースメーカー手術を受けて以来の、グレープフルーツについての疑問が解決できました。
直接薬剤師さんに質問(しかも気軽に)出来たのでよかった。
- ・ 調剤する際(在宅訪問する時も)、雑談の中に患者さんの情報を引き出しておられたり、毎回記録を残しておられるということで、医師には聞けなくても聞く場所がありよかったと思いますし、そこから医師につながることもあるということが、ありがたいと思いました。また、500円で配達だけでなく指導もしてくださっているということを知り、活用してもらいたいなと思う方もいらっしゃるのでは伝えていきたいと思います。
- ・ 各グループに薬剤師がいてくださり、気さくに聞くことができた。
- ・ 薬剤師は往診医と同じ役割を担っている在宅医療に不可欠なポストだと思った。
1時間の訪問時間の中で、45分雑談…大事なことで、介護者の心のケアに役立っているのですネ！
- ・ 錠剤を砕いて服用しているケースをよく聞くと、薬の効果は一緒なのか
- ・ 今日はお薬の詳しい話が聞けて良かったです。お薬手帳の無駄が皆さんから出ていました。早く統一するべきですね。彦根市独自のお薬手帳を作るようアイデアを募るといいですね

